

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	消防車両等整備事業	那賀町	13,551,000	13,551,000	総事業費 13,564,800
2	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	公衆トイレ等整備事業	那賀町	15,200,000	15,200,000	総事業費 15,228,000

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防車両等整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		那賀町		
交付金事業実施場所		那賀町鮎川、西納		
交付金事業の概要	<p>小型動力ポンプ積載車2台購入（3000cc級、4WD、定員6名、ポンプ昇降装置等各種装置及び備品付属）                  那賀町の相生地区に配備している小型動力ポンプ積載車は、配備時から20年以上が経過し、製造業者が推奨する使用期間の10年を大幅に超えています。また、過疎化が進み消防団員も高齢化し減少傾向にあるうえ、管轄する範囲が広域かつ集落が点在しているため、消防団員への負担は非常に大きく、地区住民もその現状に不安を感じています。このことから、消防団員の負担軽減と迅速な消防活動を行うことができるよう、使用しやすい機材及び車両の配備が望まれており、電源立地地域対策交付金を活用し車両を更新することで、地域の防災機能の強化が図られ、地区住民の安全確保に貢献しています。</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）                  基本目標4：時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。                  （1）くらしの安心の実現                  ・消防団の施設・設備の計画的な整備・更新等により、消防団組織の充実と消防団活動の強化を図る。</p>			
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度	
事業期間の設定理由				

	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
	消防団員の負担軽減と迅速な消防活動のため、車両を更新することで、地域の防災機能の強化と共に地区住民の安全を確保する。	-	成果実績		-		-
			目標値		-		-
			達成度		-		-
評価年度の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	本交付金事業の完了が年度末となったため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>本交付金の活用により小型動力ポンプ積載車2台を購入することができ、消防団員の負担軽減と迅速な消防活動を行うことができるようになったことで消防団の活動が強化され、地域住民の不安の軽減と安全確保に貢献することができました。また、本交付金に関する町施策の効果として、自主防災組織数の組織率を92.97%に上げることができました。また、車両を活用した広報活動、防災訓練の実施等を行い町民の自主防災意識の高揚を図り、H30年度の町内の火災件数を1件に抑えることができました。次年度以降も、消防団組織の充実と消防団活動の強化のため設備の整備・更新を計画的に実施し、また、広報活動・防災訓練等を行うことで防災機能の強化を図り、町民生活の安心・安全確保に繋がります。</p>						

評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	活動指標：耐用年数を超えたポンプ積載車の更新台数(台)	活動実績		台	4	3	2
		活動見込		台	4	3	2
		達成度		%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考			
総事業費	27,756,000	28,944,000	13,564,800				
交付金充当額	27,740,880	28,783,000	13,551,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	27,740,880	28,783,000	13,551,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
小型動力ポンプ積載車		指名競争入札		徳島ポンプ(株)		13,564,800	
交付金事業の担当課室	那賀町にぎわい推進課						
交付金事業の評価課室	那賀町にぎわい推進課						

番号	措置名	交付金事業の名称	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	公衆トイレ等整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		那賀町	
交付金事業実施場所	那賀町木頭北川		
交付金事業の概要	<p>公衆トイレ改築(床面積13.34m<sup>2</sup>、浄化槽25人槽、洋式)  那賀町木頭地区に設置されている木頭北川公衆トイレは、バス停やグラウンドに隣接しているため地域住民の利用が多く、また、この地区を訪れる観光客が多く利用しています。しかし、洋式トイレが無く、多目的トイレも設置されていないことから利便性が悪く、地域住民や観光客から設置を要望する声が多くあり、更に設置から34年が経過し老朽化が進んでおり、冬期は配管が凍結し一部を使用中止にしている状況となっていました。今回電源立地地域対策交付金事業により、洋式トイレと多目的トイレを備えた公衆トイレに建て替えたことで、町民生活の利便性向上及び観光客のリピーターの増加に貢献しています。</p>		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）  基本目標4：時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。  (2) 地域づくりの加速  ・必要なインフラ機能を維持しつつ、インフラ施設の計画的な維持管理、更新等を推進する。</p>		
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
	洋式トイレと多目的トイレを備えた公衆トイレに建て替え、町民生活の利便性向上及び観光客の確保に貢献する。	-	成果実績	-	-	-	
			目標値	-	-	-	
			達成度	-	-	-	
評価年度の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	本交付金事業の完了が年度末となったため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>本交付金の活用により、木頭地区北川の公衆トイレを洋式トイレと多目的トイレを備えた公衆トイレに建替えたことで、隣接するバス停、ゆずの集荷場等を利用する住民の利便性向上、隣接するグラウンドは週に3回以上ゲートボール場として利用されるなど、地域コミュニティの活性化にも貢献することができました。また、公衆トイレは国道195号線の利用者も多く利用し、トイレトペーパーの消費量は改築後2ヶ月の消費量が同時期と比較すると1.5倍程度増加しており、町内外の利用者の利便性向上に貢献できました。次年度以降も、町民・観光客の意見・要望を踏まえた上で、町民生活の利便性の向上及び観光客の確保を図っていきます。</p>						

評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	年度	年度	
	活動指標：公衆トイレ建 替箇所（箇所）	活動実績		箇所	1		
		活動見込		箇所	1		
		達成度		%	100.0%		
交付金事業の総事業費 等	平成30年度	年度	年度	備考			
総事業費	15,228,000						
交付金充当額	15,200,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	15,200,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
公衆トイレ改築工事		指名競争入札		北川産業（有）		15,228,000	
交付金事業の担当課室	那賀町にぎわい推進課						
交付金事業の評価課室	那賀町にぎわい推進課						